

# 京土会「学生・若手会員研修助成基金」報告書

## 1. 申請者情報

申請年度・回：令和6年度第1回

氏名：森岡 たまき

所属・学年：地球環境学舎 地球環境学専攻 環境調和型産業論分野・D3

渡航先：シンガポール (Suntec Singapore Convention & Exhibition Centre)

## 2. 活動報告

2024年9月29日～10月4日にシンガポールで開催された残留性有機汚染物質の国際シンポジウムであるDIOXIN 2024に参加し、講演を行った。この学会は、環境汚染物質の分析技術の開発や、環境動態、人体影響、リスク評価などの15のトピックに分かれてセッションが組まれており、環境汚染物質に関する最先端の知見を収集することができる。

10月1日に”Pollution, detection and Treatment of Microplastics and Nanoplastics”というセッションにて”Investigation of analytical conditions to quantify airborne plastics using Pyrolysis-GC/MS and its application to urban outdoor air in Japan, Thailand, and Nepal”というタイトルで口頭発表を行った。発表内での質疑応答だけでなく、セッションが終わってからも自身の開発した分析手法に関する質問を頂きながらさらに議論することができ、課題点を明らかにすることができた。さらに、プラスチックの環境中での劣化挙動を詳細に調べた研究や、近年毒性が懸念されている6-PPD-quinoneとタイヤ由来粒子との関係など最新の研究成果を収集することができ大変勉強になった。

国際学会で現地での口頭発表は初めてだったが、自身の研究が世界的にも注目されていることを実感し、見識をさらに深める貴重な機会となった。この海外研修に助成頂いた京土会関係者の皆様に心より感謝いたします。



発表時の様子